

【会員アンケート結果発表】小学校への満足度が高いのに中学受験を目指す理由とは!?

日本最大級の受験教育情報サイト「インターエデュ・ドットコム」(所在地:東京都新宿区、代表取締役社長 我妻真孝)は、自社サイト会員の小学生保護者を対象に「お子さまが通う小学校に関するイメージに関するアンケート」を2023年3月16日(木)～2023年3月26日(日)に実施。教育や生活、親の負担などの面についてどのように感じているかを調査しました。本プレスリリースでは回答結果と保護者の生の声の一部をお届けします。

◇本調査のより詳細な調査結果や保護者の生の声は以下のサイトよりご覧いただけます。

<https://www.inter-edu.com/edunavi/life/230424-02/>

【目次】

1. 教育・生活・設備・親の負担の4観点から解き明かす小学校のリアル
2. 保護者の72.2%が小学校に満足しているのに、75.2%が中学受験を志望する理由とは？

【調査概要】

アンケートテーマ: お子さまが通う小学校に関するイメージ

調査対象: 調査時に小学生保護者のインターエデュ会員

回答人数: 101人

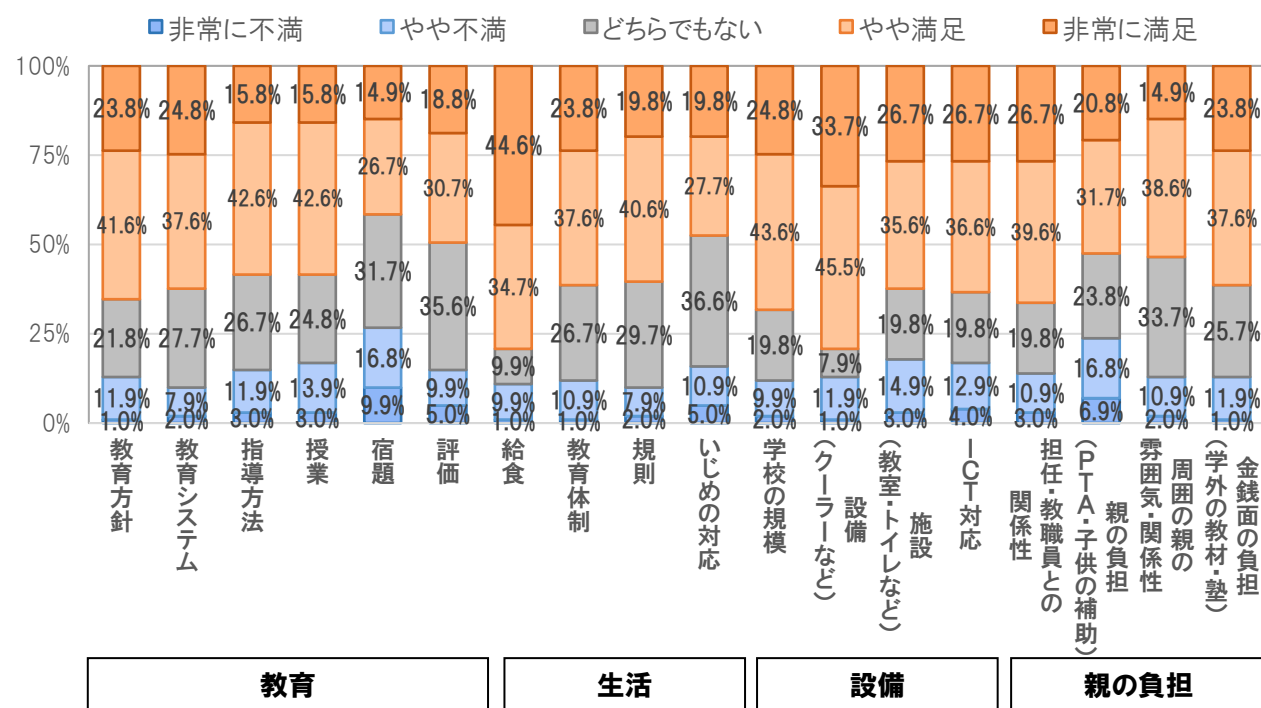
調査期間: 2023年3月16日(木)～2023年3月26日(日)

調査方法: インターネット調査

【調査結果】

■1.教育・生活・設備・親の負担の4観点から解き明かす小学校のリアル

項目別満足度調査(n=101)



【サマリー】

多くの項目で半数以上が「非常に満足」・「やや満足」と答える結果になりました。特に「給食(79.3%)」「設備(79.2%)」で評価が高く、保護者自身の子ども時代よりも進歩している点を評価しているようです。一方親の「非常に不満」「やや不満」の回答が多かったものが、「宿題(26.7%)」と「親の負担(PTA 活動・子供の補助)(23.7%)」となりました。「宿題」においては中学受験を念頭に置いた場合に、レベルと量が合致しないこと、「親の負担」においては PTA 活動を大きな負担とする声が見受けられました。各観点別の要点は以下をご確認下さい。

【教育】

「非常に満足」・「やや満足」と答えた割合は上から順に「教育方針(65.4%)」、「教育システム(62.4%)」、「指導方法(58.4%)」、「授業(58.4%)」となりました。

宿題については不満を持つ保護者の割合が 26.7%となり、今回の調査で最低でした。量の多さ、もしくは自身の求めているものよりもレベルが低いことに不満を持っているようです。

【生活】

とりわけ給食の満足度が高く、味・栄養バランス・温度以外にも子どもが食べられるメニューや食材を増やす姿勢が好意的に受け取られています。「いじめの対応」を不満に感じる層は 15.9%にとどまりました。担任を始め、学校全体でいじめ問題に取り組もうとする姿勢や、毎年クラス替えをする対策などを評価していることがコメントからうかがえました。

【設備】

親世代が子供の頃と比べて大きく進歩している事が多いため、全体的に満足度が高い結果となりました。設備があるだけでなく、きちんと設備が活用されていることが高評価につながるようです。

不満については学校ごとの取組の姿勢の違いや都内への人口集中ゆえの学校のキャパシティ不足などが挙げられます。

【親の負担】

各項目満足を感じている層が 50%を超える一方で、「親の負担(PTA・子供の補助)」は 22.7%と宿題に続き、2 番目に不満を持たれている結果となりました。特にコメントからは PTA への抵抗感を強く持つ意見が見られます。

保護者の声

【教育】

- 想像以上にカリキュラムが充実。英語はもちろんのこと、高学年では算数が理解度や成績順でクラス分けされるのにも期待。
- できる子もできない子も同じ内容の宿題は、時代に合っていないのでやめて欲しいと思います。特に中学受験が多い東京では、頑張っている子達の足を引っ張っているだけです。
- 宿題が多く、科目ごとに細かく課題がでて、親のチェックがしにくいことに負担を感じています。息子が先生からの指示をよく聞いていないのか、忘れてしまうようで、なかなか正確に宿題が提出できないことに困っています。

【生活】

- 給食試食会に参加しましたが、普段食べないような食材や味付けであることや、すべて手作りのカレーなど好印象でした。全部食べないとおかわりできないなどおかげで、食べられる食材が増えて助かっています。
- わが子が公園で上級生に嫌がらせをされた際、担任や学年の先生方が報告を受けたその日のうちに、双方から話を聞いてくれて安心しました。いじめに関しては、迅速かつ丁寧に対応する体制や心構えができている印象です。
- クラス替えや担任変更が毎年あるので、高学年の女子のグループ化をリセットでき、いじめ防止などに役立っていると思います。

【設備】

- 学校、担任、専門教科の先生、事務員の方と親がメールでいつでも意見、質問、悩み等を連絡できる事がお互いの早い対応や安心感につながっています。
- 入学児童数が年々増えているため、一年中仮設校舎工事をしていて、騒音がうるさく、先生の声が聞こえない場合があります。校庭がどんどん狭くなり、ボール遊び禁止で休み時間に校庭で走りまわることもできません。

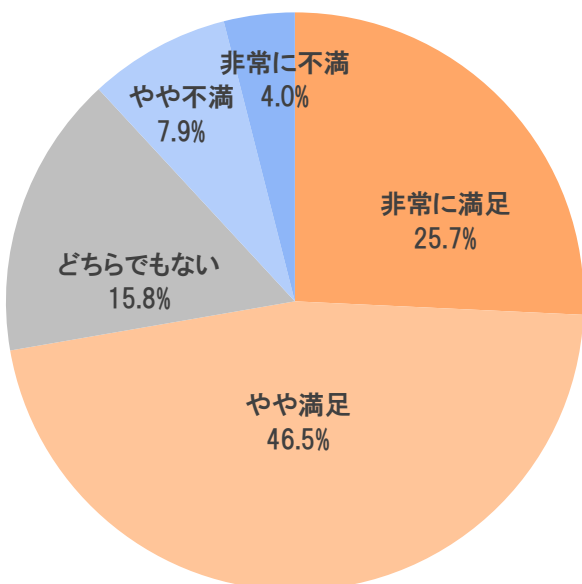
【親の負担】

- PTA 役員の仕事がかかなり大変。特に部長など役職のある立場になると、自宅でも書類作成などが必要で、仕事との両立が難しくなります。

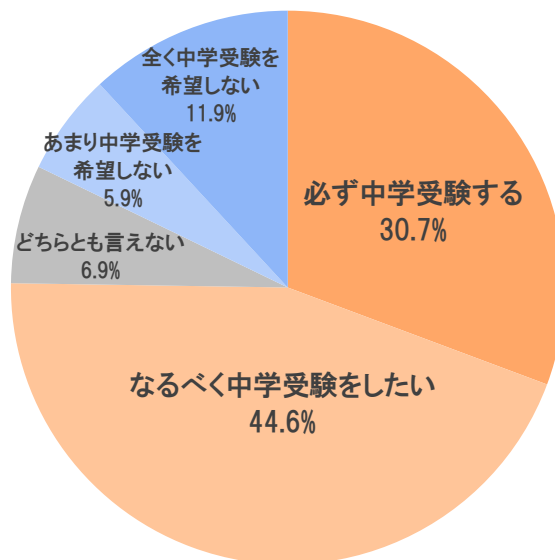
■2.保護者の 72.2%が小学校に満足しているのに、75.2%が中学受験を志望する理由とは？

小学校に満足している割合は 72.2%となったが、中学受験を志望する割合は 75.2%となったことから、小学校への満足度は中学受験に関連しないと考えられます。一方で中学受験を希望する理由のコメントからは親子と私立中学志望・公立中学忌避を軸に 4 つのセグメントに分けることができました。中でも親の公立忌避の意見が多く、その理由の多くは内申点への懸念でした。

小学校の総合満足度(n=101)



中学受験への意向(n=101)



保護者の声

【子ども私立志望層】

- 本人が私立に行きたいと希望したため。親は絶対ではないと伝えています。
- 子どもが興味を持っている学習内容のカリキュラムに重きを置いている学校があるため。

【親私立志望層】

- 一貫した教育方針と環境で学ばせたい。できれば国際的な環境を希望します。
- 兄が私立に行き、教育や施設設備、先生との関係の深さやアットホームさにとっても満足しているので。

【子ども公立忌避層】

- 地元中学校との交流イベントでイヤな思いを何度かしたようで、絶対に行きたくないと言うので。

【親公立忌避層】

- 内申点含め教育方針に納得いかない為、子どもの学力にあった質の高い中高一貫校でのびのびと学業、スポーツに専念させたいです。
- 内申点の付け方について不透明で、さじ加減が担任教師の好みで左右されるため。
- 地域の公立中は大変評判は良いが、内申点が厳しいらしく、内気な子どもの性格を考えると高校進学が危ぶまれる恐れがあるため。

◇本調査のより詳細な調査結果や保護者の生の声は以下のサイトよりご覧いただけます。

<https://www.inter-edu.com/edunavi/life/230424-02/>